

第34回 樹木医対象リモート配信講座プログラム

開催日時：令和8年3月14日（土） 13：00～16：30

特集「サクラ」

今年は各地で大雪による被害がでるなど寒さが厳しい冬でした。これから迎える春は心躍る季節で桜はその象徴です。低温にさらされたサクラが休眠打破を迎え、今まさに開花に備えています。今年はきっと満開の美しい桜が各地で見られることでしょう。

しかしクビアカツヤカミキリやモモヒメヨコバイなどの外来生物による被害も蔓延し、樹木医の皆様には気が気でない方も多いと思います。

「世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし」と在原業平が古今和歌集で詠んだ歌は、樹木医にとっては別の意味で「のどけからまし（穏やかであるだろうに）」と願われているのではないのでしょうか。今回はそんな桜の魅力とその保全について、サクラに深く関わってこられたお二人の樹木医からお話頂きます。

主催：（一社）日本樹木医会大阪府支部、NPOおおさか緑と樹木の診断協会

開催日時：令和8年3月14日（土）13:00～16:30

開催方法：Zoomでのリモート参加（定員100名）

樹木医CPD：3単位申請中

対象：日本樹木医会所属樹木医、NPOおおさか緑と樹木の診断協会会員

参加費：無料

申し込み方法：次よりお申込みください

<https://kokc.jp/e/8d21ba4bf273f6c191830328fcc1cece/>

*申し込んだが都合が悪くなり参加できなくなった場合は、申し込みサイト「コクチーズ」より、「キャンセル」の手続きをお願いします。

定員オーバーとなり参加できない方が発生しています。申し込みをキャンセル頂ければ、参加枠が増えますので、お手数おかけしますが、参加できなくなった場合はキャンセル手続きをよろしくお願い致します。

＜プログラム＞

●開催日時：令和8年3月14日（土） 13：00～16：30

（*Zoomへの入室は12:50頃となります。）

13:10-14:40 【講座No.80】 90分

「植物愛好者のお花見談義」

サクラ開花の直前、お花見を楽しみにされている方は多いことでしょう。毎年見ているサクラであっても、一歩引いてサクラ全体を見渡してみると、新たな発見が待っています。さあ一緒にサクラワールドを開いてみましょう。

和田博幸樹木医は「公益財団法人日本花の会」主幹研究員として、長年サクラの育成・保護や「桜の名所づくり」などに取り組みされてきたサクラ保全の第一人者です。日本花の会を退職後も日本各地のサクラに関わり続けられています。皆様と一緒にあらためてサクラの魅力を探しましょう。

（一社）日本樹木医会 副会長 和田(わだ)博幸(ひろゆき)（樹木医10期生）

14:50:-16::20 【講座No.81】 90分

「京都府立植物園100年の歩みとサクラ」

— ナショナルコレクション認定の意義 —

開園100周年を経た京都府立植物園では、現在180品種500本のサクラコレクションを栽培展示しており、日本植物園協会が制度化するナショナルコレクションとして認定されています。

幾度かの歴史的危機を経て、現代に伝わったサクラ品種群の経緯と、その育成や維持管理に携わってこられた中井樹木医にお話し頂きます。

京都府立植物園 中井(なかい)貞(ただし)（樹木医12期生）